笑門来福、人の架け橋

佐藤さんはどんな人ですか？と出会う人たちに
尋ねたら共通して「堅い人」と返ってきた。
実直で信念が堅い。そんな印象はある。

佐藤 洋

京都府

京都府難聴者協会 会長の滝野さんたちが運営する
介護事業NPO法人「わいわいネットなかま」の
スタッフ間の円滑な意思疎通を図るため
音声認識アプリ「UDトーク」の利用に取り組んだ。

与謝野町の地元手話通訳者の学習会
講師は京都府聴覚障害者協会
京丹後支部長 宮下さん

・中筋民生児童委員協議会

あまのはしだて座

42歳の時、職場の人間関係の行き詰まりで、大好きな手話の仕事からも離れることになった。
そんな落ち込んでいた時、周りの人たちから親身になって励まされ、本当に支えられた。
人と人の心温かい絆があって、今の幸せがある。
NPO法人「あまのはしだて座」はそんな頃、誕生した。
日本の古来の芸能を広く楽しんでもらうため、難聴の人がより理解しやすいよう、
巨大スクリーンを利用する工夫がなされている。

※ゲートボールに囲碁の五目並べの面白さをプラスしたニュースポーツ

高齢者の健康づくりのため、愛好会を立ち上げた。
家にこもらず、集い、おしゃべりを楽しみ
少し運動をするための「囲碁ボール※」は、今人気上昇中である。

障害のバリアを除く社会をつくるため
逆境の時には見方を逆転させて、
新しい考えにたどり着けることもある。
天の橋立の股のぞきで、次に架かる福祉の架け橋が見えてくる。

写真/文　松本 博